

# 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 22 日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	専任講師	氏名	寺嶋 康二
研究課題	経営者の自信過剰が財務報告に与える影響				
研究キーワード	自信過剰、財務報告、企業行動、業績予想、利益調整、資本調整	当年度計画に対する達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

2021 年度は、今年度は、共同研究の形で作業の効率的分担を行いつつ、自信過剰概念自体や企業行動と自信過剰の関係に関する先行研究のサーベイを行い、当該分野に関するレビュー論文を公表した。また、日本における業績予想情報の特殊性に鑑み、自信過剰な経営者と日本における業績予想との間の関係を代理変数として自信過剰の測定指標の精緻化を行った上で、経営者の自信過剰と利益調整や資本調整、ROE マネジメントといった具体的な行動との間の関係性について実証研究を行った。研究の結果として、以下の二点が明らかとなった。第一に、自信過剰な経営者は、楽観的な将来業績の見通しにもとづき利益平準化を意図した利益調整を行うものの、将来業績に対する見積もりが誤ったものになることから利益の平準化の程度は低下することが明らかとなった。第二に、海外の先行研究の検証結果とは異なり、日本においては自信過剰な経営者は自社株買いを行う可能性が低くなることが観察された。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

### 【論文（査読あり）】

「負債と持分双方の性質を有する金融商品を用いた資本構成調整行動に関する一考察-リキャップ CB と優先株式を用いた DES に着目して-」塚原慎、寺嶋康二、積惟美（共著）、グローバル会計研究、第 2 巻、61-76 頁、2021 年 3 月。

### 【著書・論文（査読なし）】

「経営者の自信過剰が利益平準化に及ぼす影響」積惟美、塚原慎、寺嶋康二（共著）、Working paper, Management Innovation Research Center, School of Business Administration, Hitotsubashi University Business School, No.244, pp.1 – 24, 2021 年 9 月。

「経営者の自信過剰 (Overconfidence) と財務報告に関する論点整理」塚原慎、寺嶋康二、積惟美（共著、筆頭著者）、千葉商大論叢、第 59 巻、第 2 号、189-211 頁、2021 年 11 月。

### 【学会発表等】

「経営者の心理的特性と自社株買い：Overconfidence に着目して」、寺嶋康二、塚原慎、積惟美、日本経済会計学会第 38 回年次大会、2021 年 7 月。

「リキャップ CB を通じた資本調整行動とその決定要因—企業の資本構成の変化に着目して」、塚原慎、寺嶋康二、積惟美、日本経営財務学会第 45 回大会、2021 年 9 月。

「経営者の自信過剰と利益平準化」、積惟美、塚原慎、寺嶋康二、日本会計研究学会 80 回全国大会、2021 年 9 月。

### 3. 主な経費

今年度の研究は主として実証研究となるため、統計ソフトである **Stata** の購入を行った。また、英語化してジャーナル投稿を行ったため、英語化の際の校正業者費用を計上している(査読プロセス中のため上記業績には未記入)。その他、各種学会費や、共同研究のための資料共有目的で利用する **Dropbox** 利用料を計上した。

### 4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

#### 【その他の助成金】

・日本経済会計学会、2019 年度特別プロジェクト研究助成金、課題名「企業の裁量的資本調整行動に関する実証研究：事業活動に影響しない資本操作と利害関係者の反応」、研究者 塚原慎、寺嶋康二、積惟美（共同研究）、研究期間 2020 年 3 月 - 2021 年 3 月。